

| | | | |
|---|---|------------------------|-----------|
| 科目名 | | 産業人間工学特論 | |
| 科目責任者 | | 庄司 卓郎 (安全衛生マネジメント学 講師) | |
| 開講時期: | 1年次後期 | 単位数: | 4 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 30 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>種々の評価指標を用いて、疲労、メンタルワークロード、ストレス、快適性等のひとの状態を計測する手法を理解する。 さまざまな事件事例を知ることにより、事故の原因が理解でき、その対策の検討ができる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ひとの生理反応の特徴を説明できる。 2) 産業疲労の概念とその評価法が説明できる。 3) メンタルワークロードの概念とその評価法が説明できる。 4) ストレスの概念とその評価法が説明できる。 5) ストレス対処法について説明できる。 6) 快適性の概念について説明できる。 7) いくつかの重大な事故について、その概要が説明できる。 | | | |
| ● 評価方法 | 討議への参加(発言)20%、発表内容40%、課題レポート40%で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 講義の中で必要に応じ紹介する。 | | |

● 授業スケジュール

| 回 | 項目 | 内容 | 担当教員 |
|-------|------------|-------------------------|------|
| 1 | ひとの生理反応 | 自律神経系反応を主とした生体反応の基礎 | 庄司 |
| 2～6 | 生理計測 | 種々の生理計測の方法とその意義 | 庄司 |
| 7～8 | 産業疲労Ⅰ | 疲労の概念とその評価法 | 庄司 |
| 9 | 産業疲労Ⅱ | 慢性疲労の評価法 | 庄司 |
| 10 | 産業疲労Ⅲ | 過重労働・長時間労働とその対策 | 庄司 |
| 11～12 | メンタルワークロード | メンタルワークロードの概念とその評価方法 | 庄司 |
| 13 | ストレスⅠ | ストレスの概念、評価方法、対処法 | 庄司 |
| 14 | ストレスⅡ | 職業性ストレスとメンタルヘルス | 庄司 |
| 15 | ストレスⅢ | 職場のストレスマネジメント | 庄司 |
| 16 | ストレスⅣ | ワーク・ファミリーコンフリクトと職場適応 | 庄司 |
| 17～18 | 快適性 | 快適性の概念とその構築方法 | 庄司 |
| 19～20 | 身体人間工学 | 作業関連筋骨格系障害、バイオメカニクス | 庄司 |
| 21～22 | ヒューマンエラーⅠ | ヒューマンエラーに係わる事故事例と対策 | 庄司 |
| 23 | ヒューマンエラーⅡ | ヒューマンエラーに係わる人間特性と対策 | 庄司 |
| 24 | ヒューマンエラーⅢ | 安全文化と安全行動 | 庄司 |
| 25～26 | 産業事故Ⅰ | 産業事故事例と対策 | 庄司 |
| 27 | 産業事故Ⅱ | 事故分析 | 庄司 |
| 28 | 産業事故Ⅲ | 安全工学的対策 | 庄司 |
| 29 | 課題発表Ⅰ | 前半の講義テーマに関して、学習成果を発表する。 | 庄司 |
| 30 | 課題発表Ⅱ | 後半の講義テーマに関して、学習成果を発表する。 | 庄司 |